

平成 31 年度 環境活動スタート事業

1 実施校

福島県立福島高等学校

2 実施日

令和元年 9月 19日 (木)

3 講演会の様子

「地球温暖化による福島県の気候変化と将来予測」をテーマに、福島地方気象台調査官 安田宏明氏を講師として実施しました。気候変化の実態と見通し、気候変動対策について過去のデータや研究資料をもとに分かりやすく説明していただきました。また、気象台調査官の仕事の内容についてお話しいたいただき、参加した生徒は興味をもって講義を受けていました。



4 講演を聞いての感想

・現在、気候変動の一番の原因となっているのは、人為的なものであると知ってはいたものの、改めてそれを聞き、生活の中で何かできることはないかを考えなければいけないと感じました。今後の温暖化を抑えるために一人一人が意識した生活をするのが重要だと感じました。

※次のページに進む

- ・現在、地球で起こっている問題は様々なことに影響を及ぼすので、早く解決しないとダメだと感じました。そのためにも私たちが日頃の生活を少しでも改善すれば良くなると思うので、自ら進んで節約を心がけたいと思いました。
- ・グラフや具体的な数値を見て、ここ数年で二酸化炭素の濃度が増え、平均気温が上昇していることが改めてわかりました。地球温暖化は確実に進んでいるので、人間全員が向き合わなければいけない大きな問題だと思いました。
- ・二酸化炭素の濃度増加や土地開発などの人為的要因によって、地球全体の環境を変えてしまうことに驚きました。
- ・地球温暖化により、農産物の品質低下、外来種による生態系の崩壊、熱中症患者の増加といった様々な影響が出ています。自然のバランスを少しでも崩すと（人為的に）気候が大幅に変動してしまうため、その危険性を知る必要があると思いました。
- ・「私一人ぐらい大丈夫」という気持ちが大きな影響につながるのだと思うと、日頃からエコを心がけ、周りの人にも教えられる立場になりたいと感じました。
- ・スーパーコンピューターで現実にはない、地球温暖化がなかった場合の未来の気象データを予測できるのはすごいと感じました。また、過去のデータから if を想定できるのは驚きでした。
- ・地球温暖化は「地球」という規模が大きい話だと思っていましたが、私たちの住む福島県にも様々な影響がでるという予測を聞いて、大きな問題だと改めて感じました。
- ・変化は誰にも止めることはできませんが、急激な変化を緩めることはできるはずです。個人の努力から全て始まると思います。まず私から始めていきたいです。
- ・このまま RCP8.5 シナリオ通りに進んでしまうと、異常気象や農作物の不作など様々な影響が今世紀末には多く見られるようになってしまうことがわかりました。行動を優先するのも良いですが、現状をより深い知識として得ることで、より適切な行動をとれるようになるのではないかと思います。
- ・今後どうなるかが変化していくかが具体的な数字でわかったので、より具体的にどう行動すべきかが見えてきました。
- ・数十年後の予測を見て、私たちがもっと真剣に考えなければならない問題だと感じました。これから起きそうな様々な異常気象の例を聞いて、止めなければならないと思い、それに向けて対策をしていかなければ未来は暗いのではないかと思います。